

抗酸化工法を
あそび隊
ニュース

宮城県O E様の抗酸化の体験
談196号からの続編です

「車椅子持って行きますよ」との間に、その頃には二人で抱えるところそこと家の中は歩けるように回復していたので「大丈夫です」と断れるくらいでした。でも外は心配なのでと、玄関から車までは車椅子使ってくれました。一人で起き上がることも無理なので、オムツ替えのときはぬるま湯に、えみなを少量溶かしたものをスットポトルにいれて、蓋に何か所か穴を開けてシャワー状にお湯が出るようにしてある程度拭き上げてから、それで流してあげるようにしました。肌が弱く、母ですが、オムツかぶれしなげで済みました。コルチドで寝返りが出来ないの、いっつのまにか、コルチドの硬い部分で、尾の骨の辺りが赤く床ずれのようになり、痛がるので患部に、痛帖も使ってみました。最初入院した病院では、痛み止めも何も出してもらえなかつたので、起き上がる時痛がって大変でしたが、他の病院に診てもらって、痛み止め処方されてからは、みるみる回復して行きます。

した。コルチド取れたときには、ほぼ今までの生活に戻れて、た気がします。この事が全て抗酸化商品を使っておかげとは証明できませんが、当時6歳年齢的にも退院時の状態を見ても、このまま寝たきりになてしまいう可能性も大でした。私は抗酸化効果はあたると思っていま、す。そういう、母が座るソファ、姿勢を保つための座布団などを、噴霧しまわっていたのを思い出しました。抗酸化商品で、認知症が緩和した内容がASK株式会社のブログにあがっていたのは、読んだ事があつたので、1番新しく出た商品を使って抗酸化空間作れば効果も出やすいと思、必死でした。その後、2年前、熱中症で、数日入院、昨年、家の建て替、えみなとき、認知症の症状が強く出て、夜中幻聴に反応して出、入院する事もありました。その都度、抗酸化商品を使っている、乗って乗り越えて来ました。最近「ケアマネさんにお母様は、良くここまで回復しましたね」と言われ、本当にいろいろあつたなあ

と今日書いてみました。昨年家の建て替、えみなのためアパートに引越した時の事です。母の認知症の症状は幻聴があり、特に冬場はひどくなり、暖かくなつて来て、秋口までは、落ち着きます。引越しては、5月の連休を利用して、新しく介護用ベッドが入るのを待って、母も移動しました。認知症の家族を持つ方は、経験あると思いますが、入院すると入院した事を忘れて、見え無、所にいる事で、混乱するの、か認知症が強くなる事、引越した先の母は、家族も一緒に、から、日中は穏やかに過ごして、混乱無く過ごせる様子に、おとしました。夜、ベッドに戻り、おとなしく眠ってくれて、心配する程でも無かつた、安心して私達も就寝したので、目覚夜中ゴソゴソ音がするので、目覚めると、ベッドの手すりを母がまさ、に乗り越えようとしていました。驚き何してるのか聞くと、「姉がアパートの下まで来て、良くここがわかつた、な、部屋わからなくて困るから迎えにい、く」との事、母の姉は91歳、しかも心臓が悪く、自宅の隣の公園

でさえ行けない事、母が教えてくれているのに、もちろん誰も来ては、ず無く、夢か幻聴に反応しているのですが、普段はトポポと私に支えられて歩く母が、一人、ベッドから起き上がり、しかも柵を乗り越えるくらい動ける、それも驚きでした。夫がなんとかなだめて寝かしつけてくれたので、そんな日が、日くらい続いた時、このままは大変と思、私はアパートだし、リースの介護ベッドだから、ちやうと躊躇していたのですが、新抗酸化ワックスは塗ると透明になるので、霧吹きにワックスいれて、母のベッド脇の白壁に吹付けました。介護ベッドも、ベッドと柵、そして今回は母の布団の身体に当たる部分に吹付けました。枕カバー、毛布や暑くなつて来てからは、タオルケット、シーツ、あまりやるとゴワゴワになると、思い、離れたところから全体にかかるようにして、一回霧吹く程度、洗濯する度繰り返しました。あと、床と天井にも軽く吹付け、母の寝室を、わか抗酸化空間にしました。こんなに、わかな抗酸化処理で効果あるのか、私も半信半疑で、「どうかこれで認知症状態落ち着いてくれ」と思いました。

つづく